

はかり付ストレッチャー

DP-7300PW

取扱説明書

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保存し、必要なときにお読みください。

～ はじめに ～

この度は、はかり付ストレッチャー DP-7300PW をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、はかり付ストレッチャー(以下、本文中では本機とします)をご使用いただくためのガイドブックです。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で、実際にご使用くださいますようお願い致します。

また、取扱説明書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

本機的设计内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先、弊社支店、もしくは各営業所までお問い合わせください。

－ 目次 －

安全に関する注意事項	1	3.風袋引き計量の取消方法	14
[1] はかり付ストレッチャーについて		〈3.1.7〉 ユーザパラメータについて	15
〈1.1〉 使用目的	4	◇ユーザパラメータの変更方法	16
〈1.2〉 特長	4	〈3.2〉 ストレッチャーの操作方法	17
〈1.3〉 各部の名称	5	〈3.2.1〉 ボトムの高さ調節	17
〈1.4〉 表示部及びキー操作部の名称	6	〈3.2.2〉 ブレーキ	17
[2] ご使用の前に		〈3.2.3〉 サイドレール	18
〈2.1〉 使用前点検	7	〈3.2.4〉 乗せかえ方法	19
〈2.2〉 プリンタについて	7	〈3.2.5〉 方向規制	20
〈2.3〉 設置場所について	8	〈3.2.6〉 ボンベ受け (オプション)	20
〈2.4〉 乾電池及びACアダプタのセット方法	8	〈3.2.7〉 ガートル架 (オプション)	21
[3] 操作方法		〈3.2.8〉 アンダーバッグ (オプション)	21
〈3.1〉 はかりの操作方法	9	〈3.2.9〉 安全ベルト	22
〈3.1.1〉 計量のしかた	9	〈3.2.10〉 マクラ (オプション)	22
〈3.1.2〉 日付・時刻の表示・設定方法	9	〈3.2.11〉 固定脚 (オプション)	23
〈3.1.3〉 表示固定モードについて	11	[4] 日常のお手入れ	24
〈3.1.4〉 プリンタに印刷する	11	[5] トラブルシューティング	25
〈3.1.5〉 拡張表示について	12	◇エラー表示について	26
〈3.1.6〉 風袋引き計量方法	12	[6] 仕様	28
1.ワンタッチ風袋引き	12		
2.プリセット風袋引き	13		
◇プリセット風袋の設定方法	14		

安全に関する注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な保守が必要です。この取扱説明書に示されている内容をよくお読みになり、十分理解されてからご使用いただくようお願いいたします。

また、この取扱説明書に示されている使用方法及び安全に関する注意事項は、本機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に書かれていない使用方法是、絶対に行わないでください。

■本体及び本紙に表示されている記号及び言葉は下記の意味があります。充分にご理解のうえ、安全にご使用ください。

 **危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険のおそれがある内容を示しています。

 **警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しています。

 **注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **禁止**

してはいけないことを表しています。

 **強制**

しなければならないことを表しています。

■この製品のご使用前に以下の各“危険”、“警告”、“注意”事項をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

 **危険**



：無理に引っ張って動かさない。

本機に人を乗せたまま、無理に引っ張って動かしたり、ジグザグに動かしたりしないでください。

壁にぶつかるなどし、本機が破損するだけでなく、人が落下したり、転倒して思わぬ事故になる恐れがあります。



：感電事故を避けるために

ACアダプタのコードは、本機、足、及び運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。

ACアダプタの抜き差しは、ACアダプタ本体の樹脂部を持って確実にこなってください。



：爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。

可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。



：火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、へんな臭いがする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



警告



：不安定な場所で使用しない。

本機に人を乗せているとき、傾いた場所では本機から落下するなど、転倒して思わぬ事故になる恐れがあります。

使用する場合はしっかり本機を支え、特に安全を確認して使用してください。



：ボトム部を持って持ち上げない。

段がある場合、ボトムを持って無理に持ち上げないでください。

ボトムが不意に外れ、本機が人の足の上に落下し、負傷する恐れがあります。



：本機の隙間、穴等に指を入れない。

ケガ、故障の原因になります。



：破損した表示内部から出た液体を口に入れない。

毒性がありますから、あやまって口に入れないように特にご注意ください。



注意



：アルカリ乾電池とマンガン乾電池をまぜて使用しない。

液漏れ、破裂する可能性があります。

指定以外の電池を使用すると、電池の破裂・液もれにより火災、ケガ、汚損の原因になります。



：電池を火や水の中に入れたり加熱したりしない。

破裂する可能性があります。



：電池の極性は指示通りに装着してください。

液漏れ、破裂する可能性があります。



：電池をなめたり口に入れたりない。

電池を小さなお子様の手の届くところに置かないでください。



：電池が切れたまま放置しない。

電池が液もれして内部が腐食する場合があります。



：本器の分解・改造をしない。

封印シールを剥がしたり、分解・改造をしたりしないでください。

取引証明用として使用できなくなるばかりでなく、以後のサービスを受けられなくなる場合があります。



：使用しないときはブレーキをかける。

本機から離れる、使用しないときは水平で、安定した場所に置き、必ずブレーキを掛けてください。



：キャスターにガタがあれば使用しない。

キャスターは消耗品です。ガタガタしはじめたら、使用するのを止めキャスターを交換してください。

なお、本体に貼付されているシール類、及び本書の紛失あるいは損傷等がありましたら、ご購入先、弊社支店、もしくは各営業所までお申し付けください。

使用上の注意とお願い

- ・ 本体に貼り付けてあるシールの内容は安全上、及び本機を正しくご使用いただくために、非常に重要です。必ずお守りください。
- ・ 本機は、耐荷重 160kg です。積載重量(酸素ボンベ含む)が 160kg 以上の場合はご使用にならないでください。
- ・ 本機は、1 人用に設計されております。お子様といえども、必ずお 1 人の乗せかえ及び移動にご使用ください。
- ・ 本機を使用する場合には、周囲の安全に十分気を付けてください。
- ・ 操作するときは、患者さんの様子を見ながらゆっくりと操作してください。少しでも患者さんに異常がみられたときには、すぐにその作業をやめください。
- ・ 乗せかえは、必ずブレーキをかけてから行ってください。
- ・ 患者さんを本機に乗せるときは、ボトムの中央部に乗せてください。
- ・ 患者さんを乗せかえるとき以外は、必ず両側のサイドレールを立ててください。
- ・ 患者さんを乗せたまま、本機から離れないようにしてください。やむを得ず離れる場合は、必ずブレーキをかけてください。また、ブレーキがかかっている事をご確認ください。
- ・ ブレーキをかけて本機を固定する場合、床面に傾斜のない所をお選びください。
- ・ 患者さんの搬送時には、急な方向転換などしないでください。患者さんに余計な振動を与えないでください。
- ・ 本機の改造は思わぬ事故につながる恐れがあります。改造の必要な場合には、弊社までご連絡ください。

〔1〕 はかり付ストレッチャーについて

〈1. 1〉 使用目的

本体とベッドとの高さを合わせ、ベッドに並べることにより、ベッドからの移乗を安全かつ楽に行うストレッチャーです。

また、ストレッチャー本体を水平で安定した場所に移動させることで、はかりとして体重を測定することができます。

〈1. 2〉 特長

○サイドレールは大きな面構造なので、移動時も安心です。

○ブレーキは、トータルロック式(キャスターの方向は関係ありません)により、ブレーキペダルを踏み込むことで4輪同時にかかります。

○キャスターの方向規制装置によって、移動の際、直進移動が楽に行えます。

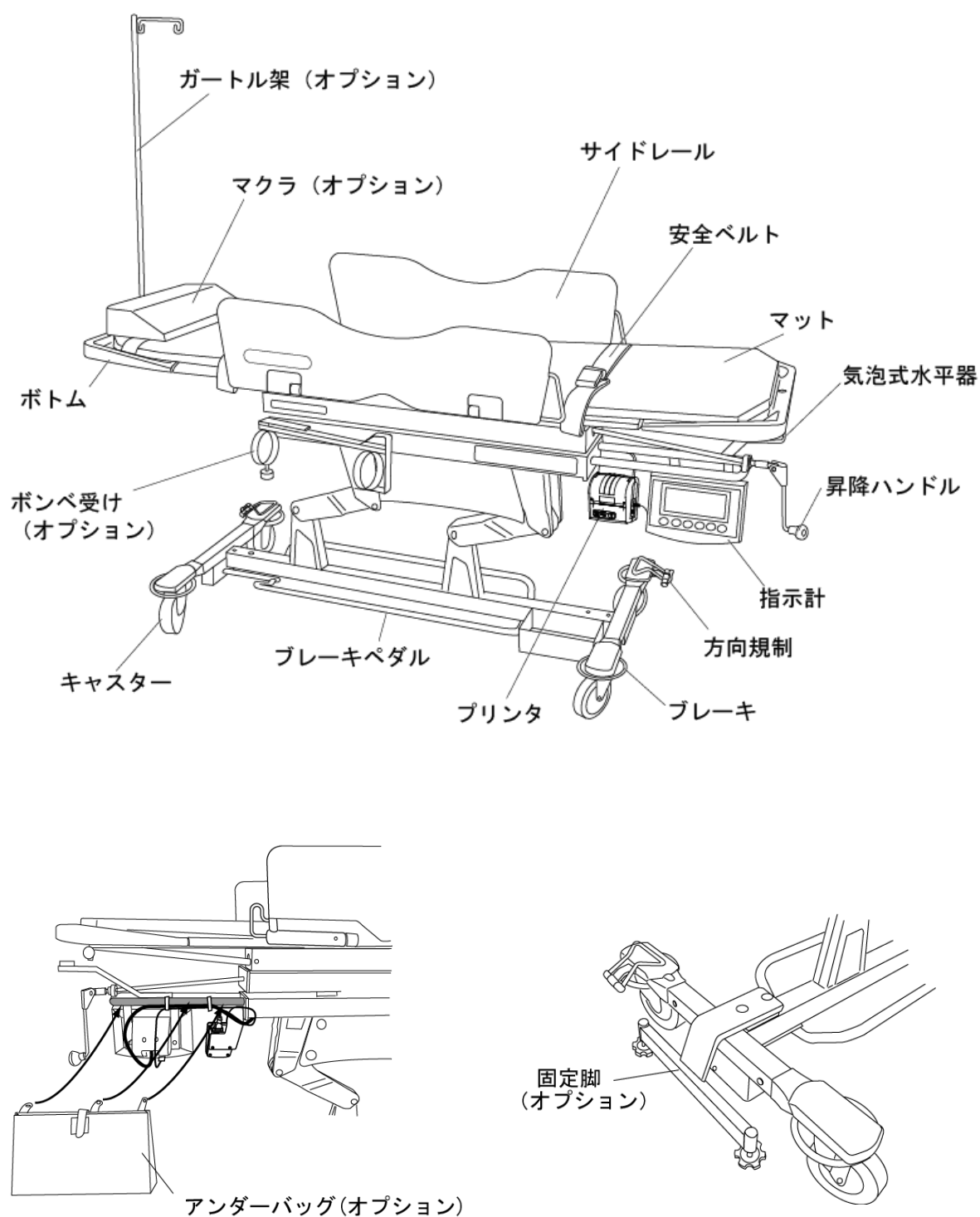
○ボトムの昇降は、昇降ハンドルを操作して行います。昇降範囲は61cm～101.5cmまで可能です。手を離すと任意の位置で止まります。

○体重測定の結果をプリントアウトすることができます。

○オプションとしてボンベ受け、ガートル架、アンダーバッグ、マクラ、固定脚をご用意しております。

〈1. 3〉各部の名称

ストレッチャー



〈1. 4〉表示部及びキー操作部の名称

表示部

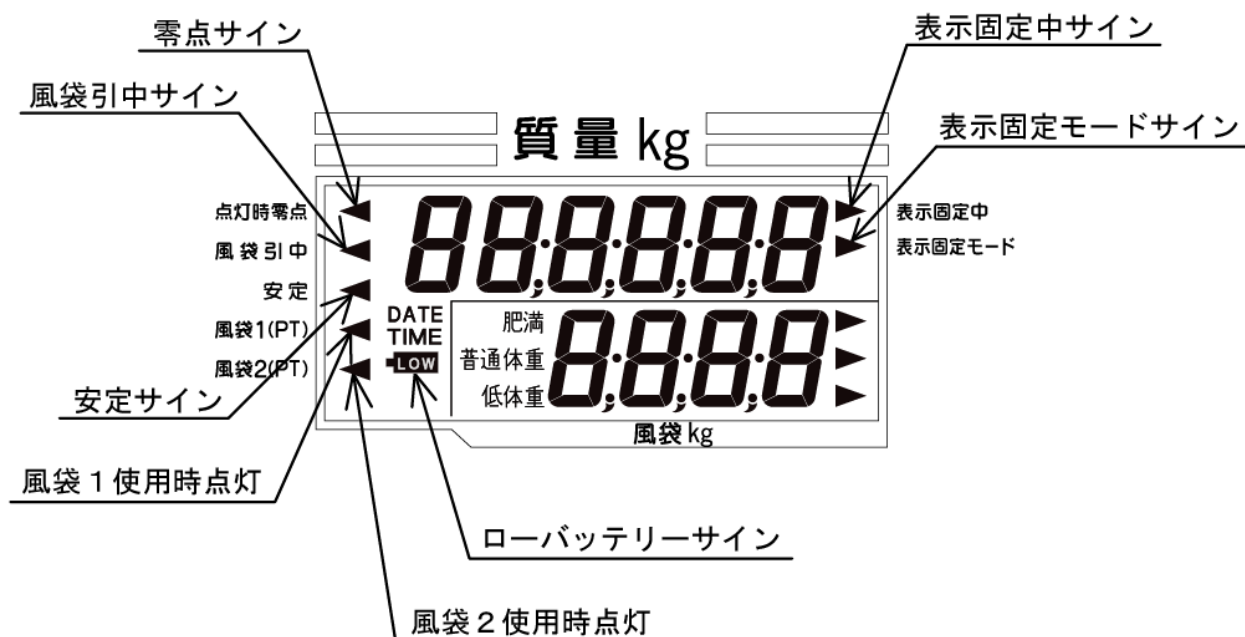
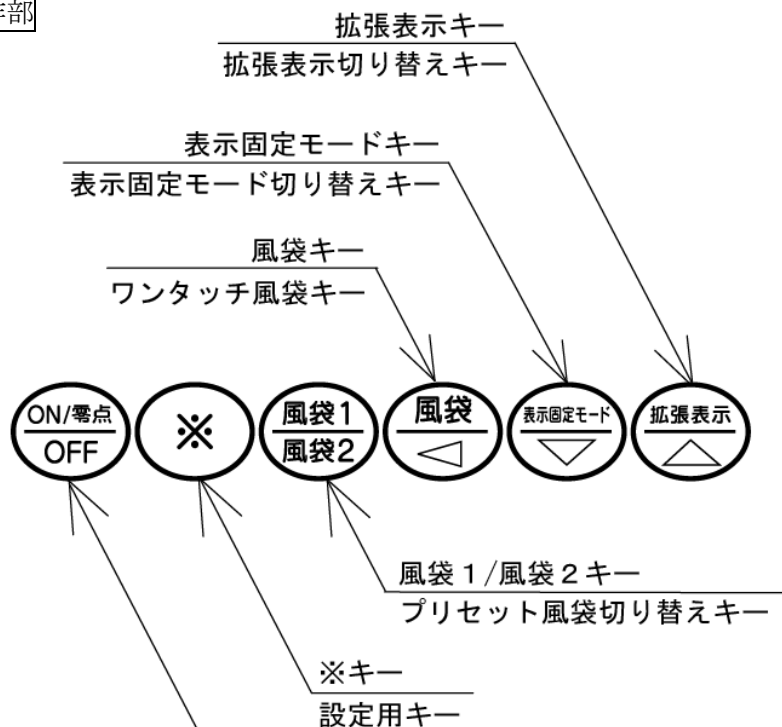


表 示	名 称
DATE	DATE サイン
TIME	TIME サイン

キー操作部



電源ON/OFF、零点キー

電源を入れるとき、押すと電源がオンします。
電源を切るとき、電源が切れるまで押し続けます。
零点がずれているとき、押すと零点をリセットします。

[2] ご使用の前に

〈2. 1〉使用前点検

- ・ご使用になる前には、必ず毎回点検してください。
- ・使用前点検の点検項目を、すべてクリアした場合に限りご使用ください。
- ・ひとつでもクリアできないときは、使用せずにご購入先あるいは弊社までご連絡ください。

点検項目		処理方法
ブレーキはききますか。 (きかないとき→NO)	→ NO	ご使用を止め、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
昇降ハンドルで、高さ調節はできますか。 (できないとき→NO)	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
ボトムに荷重をかけたとき、昇降ハンドルが自然に下降する方向に回転しませんか。 (回転するとき→NO)	→ NO	ご使用を止め、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
昇降ハンドルは収納できますか。 (収納できないとき→NO)	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
サイドレールのロック・解除は確実にできますか。 (できないとき→NO)	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
サイドレールは両方とも立てていますか。 (立てていないとき→NO)	→ NO	転倒・落下防止のために必ず両側を立ててください。
↓OK		
使用点検 OK !		

注 意

上記の使用前点検に記載されていること以外でも、おかしいなとか、今までと違うような気がしたときには、絶対に使用せず、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。

お客様の判断で本取扱説明書に記載されていない内容の処理をされた場合には、弊社では責任を負いかねます。

〈2. 2〉プリンタについて

長時間プリンタをご使用にならなかったときは、内蔵電池が消耗していますので、ご使用になる前に充電してください。

充電方法は、①電源オフの状態で②ACアダプタを接続します。③CHARGE ランプが赤色に点灯して充電を開始します。

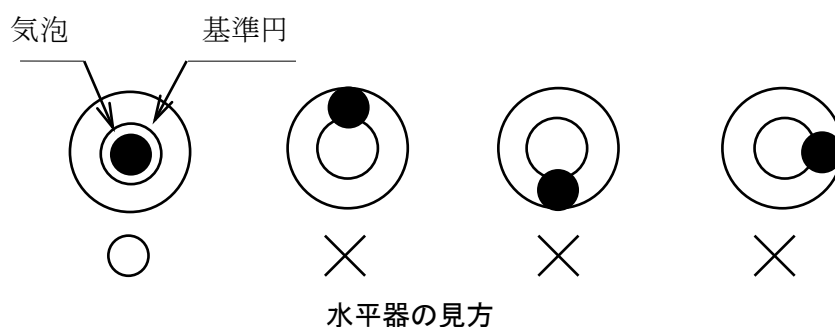
④充電が終了したら、CHARGE ランプが緑色に点灯しますので、ACアダプタを外します。(充電時間は平均2.5時間、最大3時間)

〈2. 3〉設置場所について

はかりとして使用する場合、必ず水平な場所に設置し、ブレーキで固定してからご使用ください。水平でないと正しく計量できません。また、ガタツキがあっても正しい計量できません。

注意：傾いた床、キャスターにガタツキのある場所には設置しないでください。（水平調整できる範囲を超える場合）

本機には水平を調整するための機構がありません。なるべく平らな場所で、水平器の気泡が基準円の中心に来る場所で使用してください。



〈2. 4〉乾電池及びACアダプタのセット方法

・乾電池の入れ方

1. まず、指示部背面の**指示部開閉用つまみ**を
図1のように前方向に押して指示部を開けます。
開ける際には、無理な力がかからないように作業してください。



図1 指示部の開け方

2. 乾電池は、電池ボックスに刻んである極性通りに正しく装着してください。向きを間違えと
はかりが故障する恐れがあります。
電池蓋を閉じるには、開けるときの逆の要領で閉じます。



図2 乾電池の入れ方

・ACアダプタの接続

必ず附属の専用ACアダプタをご使用ください。

（注意：**指示計用**と記載されたACアダプタをご使用ください。

異なるACアダプタをご使用になると、故障の原因となります。）

ACアダプタのプラグをしっかりと差し込んでください。

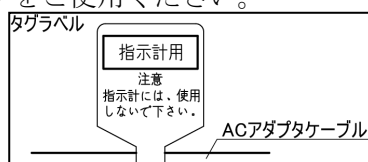
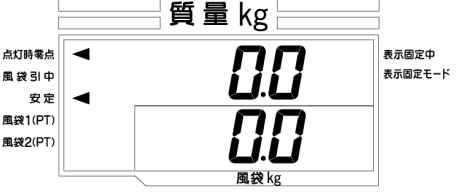
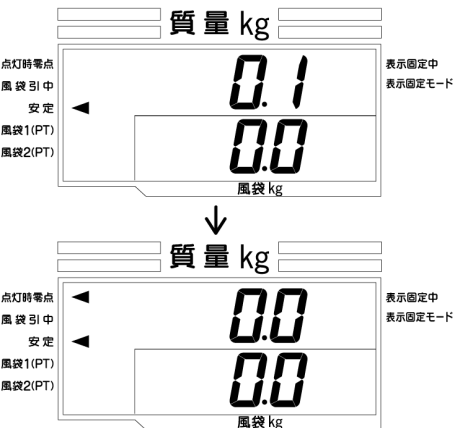
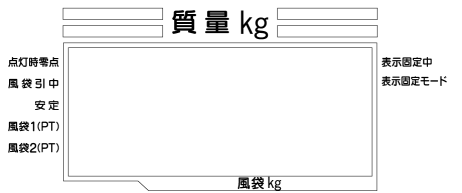


図3 ACアダプタの取り付け方

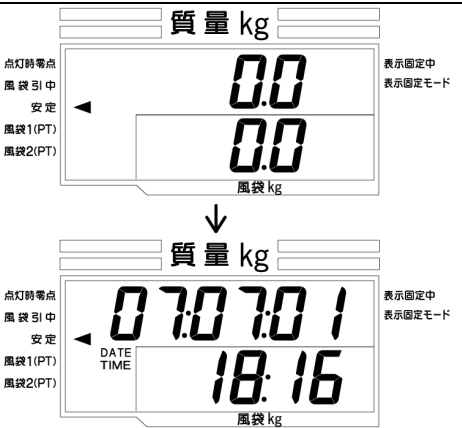
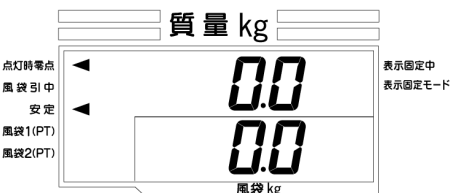
〔3〕 操作方法

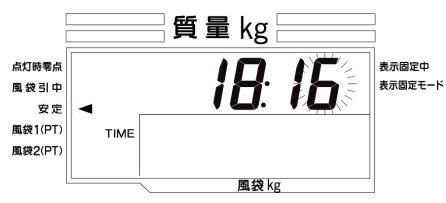
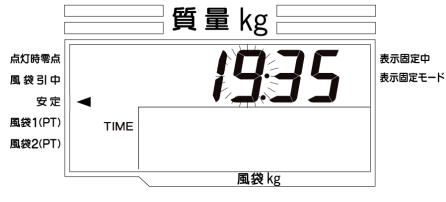
〈3. 1〉 はかりの操作方法

〈3. 1. 1〉 計量のしかた

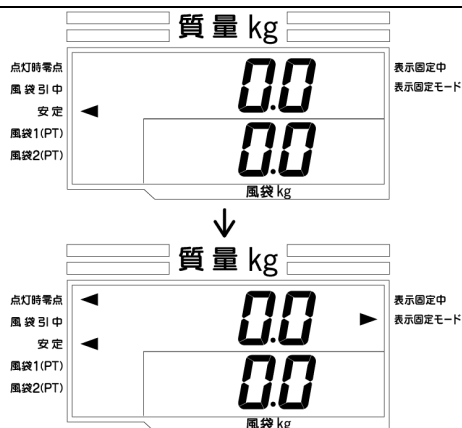
	操作手順	表示内容
①	【電源オン】  を押してください。 ※全ての表示が点滅した後に 0.0 を表示します。	
②	【零点リセット】 零点がずれて 0.0 と表示していない場合、  を押してください。 ※零点をリセットし、0.0 と表示します。	
③	【電源オフ】 電源が切れるまで、  を押してください。 電源がオフします。	

〈3. 1. 2〉 日付・時刻の表示・設定方法

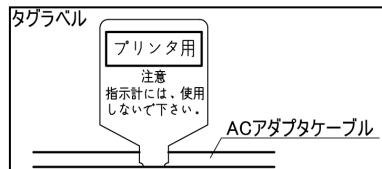
	操作手順	表示内容
①	【日付・時刻の表示】 質量表示時に、  を押しながらか  を押してください。 ※日付、時刻が表示されます。 (2007 年 7 月 1 日 18 時 16 分)	
②	 を押してください。 ※時刻表示を終了し、質量表示に戻ります。 表示固定モードサインが出ている場合は、一度  を押してください。	

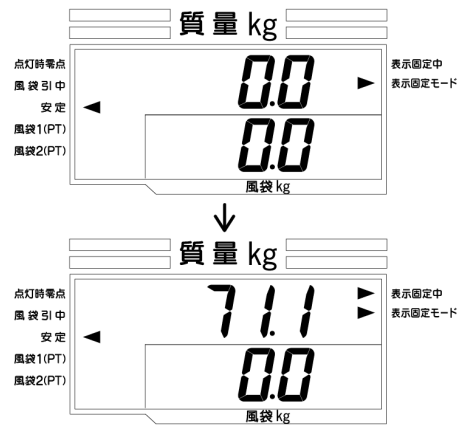
	操作手順	表示内容
③	【日付・時刻の設定】 日付表示時に、を押してください。 ※日付を表示し、日にちが点滅します。	
④	, もしくは を押して、設定値を入力してください。 ：年月日の移動 ：設定値を－1（リピート対応） ：設定値を＋1（リピート対応） ※リピート対応・・・押したままにすると自動的に数字が切り替わる。	
⑤	を押してください。 ※時刻を表示し、分の一桁目が点滅します。	
⑥	日付の設定と同様に設定値を入力してください。	
⑦	を押してください。 ※設定を終了し、質量表示に戻ります。 表示固定モードサインが出ている場合は、一度 を押してください。	

〈3. 1. 3〉表示固定モードについて

	操作手順	表示内容
①	を押してください。 ※ を押す毎に表示固定モードがオン・オフします。	

〈3. 1. 4〉プリンタに印刷する

注意	プリンタを使用する時は、AC アダプタは接続せずに使用してください。 プリンタの POWER ランプが点滅した場合は、付属の プリンタ用 と記載された専用 AC アダプタを使用し充電してください。（注意：AC アダプタは充電用としてのみご使用ください。また、異なる AC アダプタをご使用になると故障の原因となります。） また、体重の測定のみでプリンタを使用しない場合は、プリンタの電源をお切りください。電源を入れたままにしておくと、待機電力等で自己放電するので内蔵電池が消耗し、次回使う際に直ぐご使用にならない場合があります。	

	操作手順	表示内容
①	【自動印字】 プリンタの電源が入っていることを確認してから、表示固定モードがオンの状態でストレッチャーに乗ります。表示が安定し、表示固定すると自動的にプリント印字できます。 ※日付、時刻、計量値、風袋値を印字します。風袋引きをしていない場合、風袋値は印字しません。	
②	【手動印字】 プリンタの電源が入っていることを確認してから、表示固定モードがオフの状態ストレッチャーに乗ります。	

③	 を押して表示固定モードをオンします。 安定後に、表示固定を行い、プリント印字します。 ※再度プリンタに印字する場合は、一旦  を押してから、再度  を押すと表示固定をし、印字を行います。	
④	プリンタを使用しない場合は、必ずプリンタの電源をオフにしてください。	

〈3. 1. 5〉拡張表示について【取引証明用には使用できません】

	操作手順	表示内容
①	 を押してください。 通常は、0.1kg 単位で質量を表示しますが、0.02kg 単位で表示します。 キーを押している間、0.02kg 単位で表示し、キーを離すと約 5 秒後に通常 (0.1kg 単位) の質量表示に戻ります。 ※0.02kg 単位での表示は、プリンタ印字を行いません。	 ↓ 

〈3. 1. 6〉風袋引き計量方法

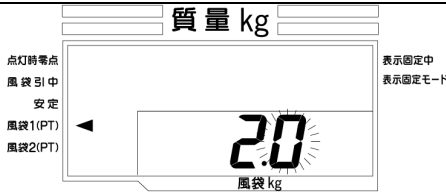
1. ワンタッチ風袋引き【最大風袋引き量は 99.9kg です】

	操作手順	表示内容
①	風袋物をストレッチャーに載せてください。 ※質量表示部に風袋物の質量 (1.0) を表示します。	
②	 を押してください。 ※風袋引中サインが点灯し、質量表示が 0.0、風袋表示が 1.0 と表示します。	
③	ストレッチャー上に乗ります。 ※風袋物の質量を差し引いた体重を表示します。	

2. プリセット風袋引き

	操作手順	表示内容
①	【予め設定済みのプリセット風袋を呼び出す場合】 風袋1 風袋2 を押してください。 ※風袋1サインが点滅し、風袋1に設定した風袋値を表示します。	
②	風袋2にするには、もう一度 風袋1 風袋2 を押します。 ※風袋2サインが点滅し、風袋2に設定した風袋値を表示します。 更に 風袋1 風袋2 を押すと、プリセット風袋値の呼出を終了し、風袋値は0.0のまま質量表示に戻ります。	
③	風袋2を呼び出して使用するには、 風袋 を押してください。 ※質量表示が-1.5 と表示し、風袋サインが点灯し、風袋2サインが点灯に変わります。	
④	ストレッチャー上に乗ります。 ※風袋物の質量と差し引いた体重を表示します。	

◇プリセット風袋の設定方法【最大風袋引き量は 99.9kg です】

	操作手順	表示内容
①	電源がオンした状態で、 を押したままにしてください。 ※風袋 1 サインと設定値の 1 桁目が点滅します。 を押すと、風袋 1 と風袋 2 の切替を行います。	
②	風袋 1 を設定するには、風袋 1 サインが点滅しているときに を押します。 ※風袋 1 サインが点滅から点灯に変わります。	
③	、もしくは を押して任意の風袋値を入力してください。 ：設定値の桁移動 ：設定値を - 1 ：設定値を + 1	
④	風袋値の入力が完了すると、 を押してください。 ※風袋 1 の設定値が登録され、質量表示に戻ります。	

3. 風袋引き計量の取消方法

	操作手順	表示内容
①	ストレッチャーから風袋物を取り除いてください。 ※点灯時零点サインが点灯し、風袋物の質量をマイナス表示します。 (表示は風袋物の質量が 1.5kg の場合です。)	
②	を押してください。 ※風袋引中サインが消灯し、質量表示が 0.0 と表示します。プリセット風袋引きの場合は、風袋 1 (もしくは風袋 2) サインも同時に消灯します。	

〈3. 1. 7〉ユーザパラメータについて

はかり付ストレッチャーには7つの機能があり、用途に応じたユーザパラメータの設定により使用できます。

ユーザパラメータ表をよくご覧になり、設定してからご使用ください。

《ユーザパラメータ表》

番号	名 称	設 定 値 : 機 能 説 明
#01	オートオフ時間 (分)	000 : オートオフしない 001~240 : 指定時間 (分) 後オートオフ <u>015 : 出荷時 15 分後にオートオフするよう設定済み</u>
#02	起動時表示固定モード オフスタート	000 : 表示固定モードオンで電源オンする <u>001 : 表示固定モードオフで電源オンする</u>
#03	印字後紙送り量	<u>000 : 印字後紙送りしない</u> 001~005 : 印字後指定行数紙送りする
#11	通信	000 : シリアル通信機能を使用しない 001 : 各種コマンドを受け付ける <u>002 : ゼロディテクション送信</u> 003 : モーションディテクション送信 004 : 連続送信
#14	送信内容	<u>000 : ネット重量 (1 回)</u> 001 : ネット重量、風袋重量、グロス重量 (1 回)
#15	通信速度	<u>000 : 9600bps</u> 001 : 2400bps 002 : 4800bps 003 : 9600bps 004 : 19200bps 005 : 38400bps
#16	キャラクタ長	<u>000 : 8 ビット</u> 001 : 7 ビット
#17	パリティ	<u>000 : なし</u> 001 : 奇数 002 : 偶数
#18	ストップビット長	000 : 1 ビット <u>001 : 2 ビット</u>

注意) 表中の下線部は、出荷時設定を表しています。

ユーザパラメータの変更方法

	操作手順	表示内容
①	電源がオンした状態で、 を押しながら、を押してください。 ※ユーザパラメータ設定画面に移ります。	
②	を押して、変更するパラメータ番号まで移動させます。 ：番号を進める。(リピート対応) ：番号を戻す。(リピート非対応) リピート対応・・・押したままにすると自動的に数字が切り替わる。	
③	 又は を押して、設定値を変更してください。 ：設定値を - 1 (リピート対応) ：設定値を + 1 (リピート対応)	
④	設定値の変更が完了すると、  又は を押してください。 注意：ユーザパラメータ番号を移動させないと、設定値は記憶されません。	
⑤	設定が完了すると、電源が切れるまで を押してください。 ※電源がオフします。	
⑥	を押してください。 ※電源がオンします。 設定値が適用され、動作を始めます。	

〈3. 2〉ストレッチャーの操作方法

〈3. 2. 1〉ボトムの高さ調節

注意

ボトムの高さを変えるときは、周囲及びボトムの上・下に障害物がない状態にしてから操作してください。

昇降ハンドルは使用后、必ず収納してください。移動中にぶつける恐れがあります。

【上昇するとき】

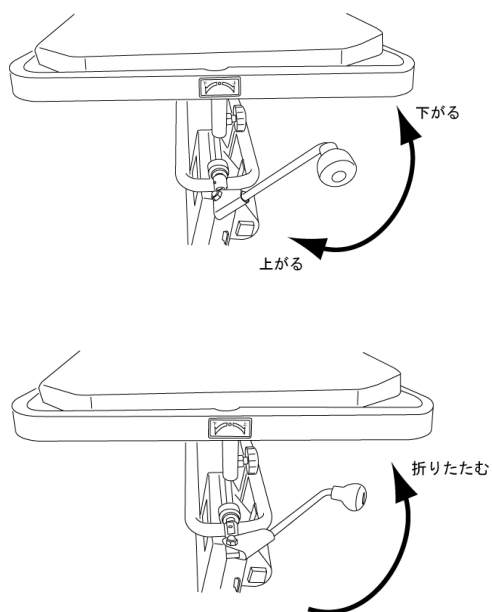
昇降ハンドルを右に回します。

【下降するとき】

昇降ハンドルを左に回します。

【収納するとき】

昇降ハンドルを内側に折りたたみます。



注意) 折りたたんだ昇降ハンドルがボトムに接触しないようにしてください。
正しい計量が行えなくなります。

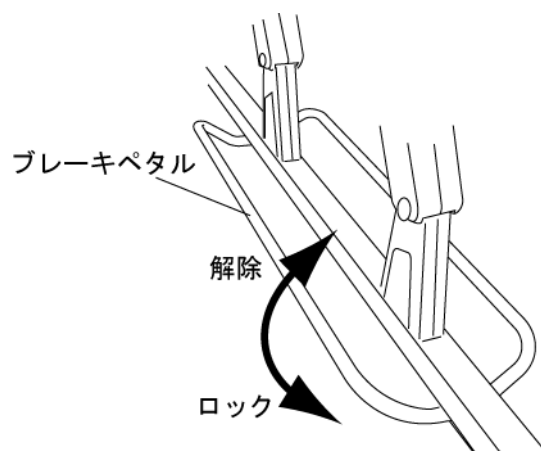
〈3. 2. 2〉ブレーキ

【ロックするとき】

ブレーキペダルを踏み込みます。

【解除するとき】

ブレーキペダルを上げます。



左右どちらからでも操作することができます。

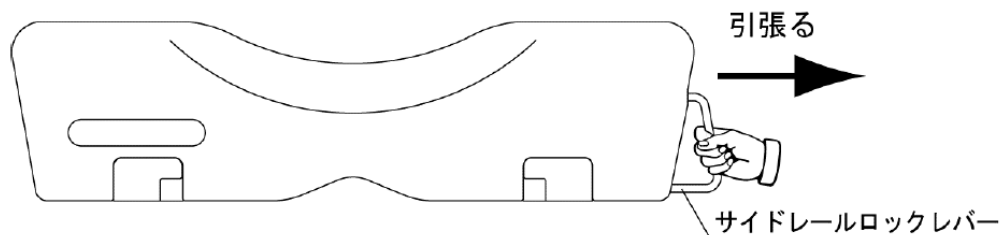
〈3. 2. 3〉 サイドレール

- サイドレールは本機の両側に装備しています。
- サイドレールレバーを引くとロックが外れ、外側に向かって倒すことができます。

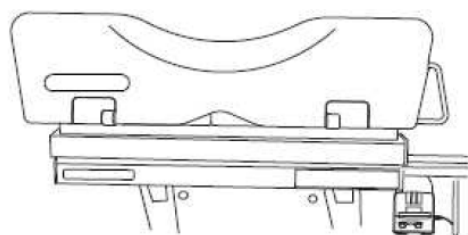
注意

- ・サイドレールは乗せかえ時以外は、必ず両側とも立ててください。
- ・サイドレールを立てた時、ロックが確実にでき、倒れないことを確認してください。
- ・レバーは必要以上に強く引かないでください。
- ・サイドレールに無理な力を加えないでください。破損や事故の原因となります。

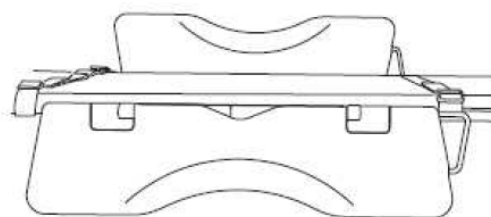
【操作方法】



【ロック時】



【解除時】



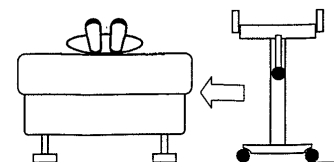
〈3. 2. 4〉乗せかえ方法

注意

- ・必ず、乗せかえの操作方法を十分に練習してからお取り扱いください。
- ・操作方法を守っていただかないと、思わぬ事故につながる場合があります。
- ・操作に不慣れな間は、本機を操作する方と患者さんをサポートする方の2人で行ってください。
- ・ブレーキをかける場合、なるべく傾斜の少ない所をお選びください。角度のきつい斜面や足元の不安定な場所での固定は行わないでください。

(一例)

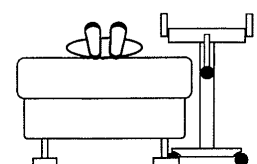
- ① ベッド上面すれすれに、ストレッチャーのボトムを押し込みます。



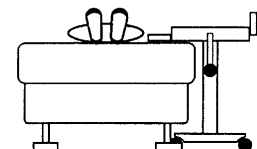
- ② ベッドの布団になじむようにボトムの高さを調節し、ブレーキをかけます。

注意

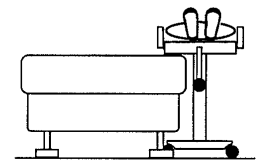
ボトムの高さをベッドに合わせたら、必ずブレーキをかけてください。



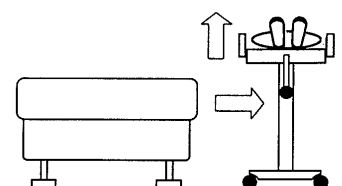
- ③ サイドレールをベッドの上に倒します。



- ④ 被介護者をストレッチャーに乗せかえて、サイドレールを立てます。



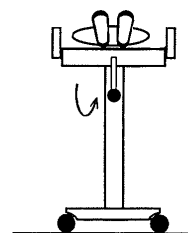
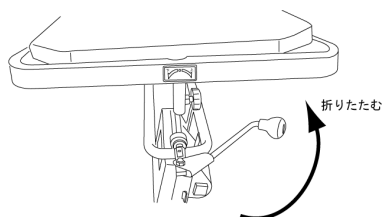
- ⑤ ボトムとベッドにすき間ができるまで上昇させ、ブレーキを解除し、引き出します。



- ⑥ 移動しやすい高さに昇降させ、昇降ハンドルを収納し移動します。

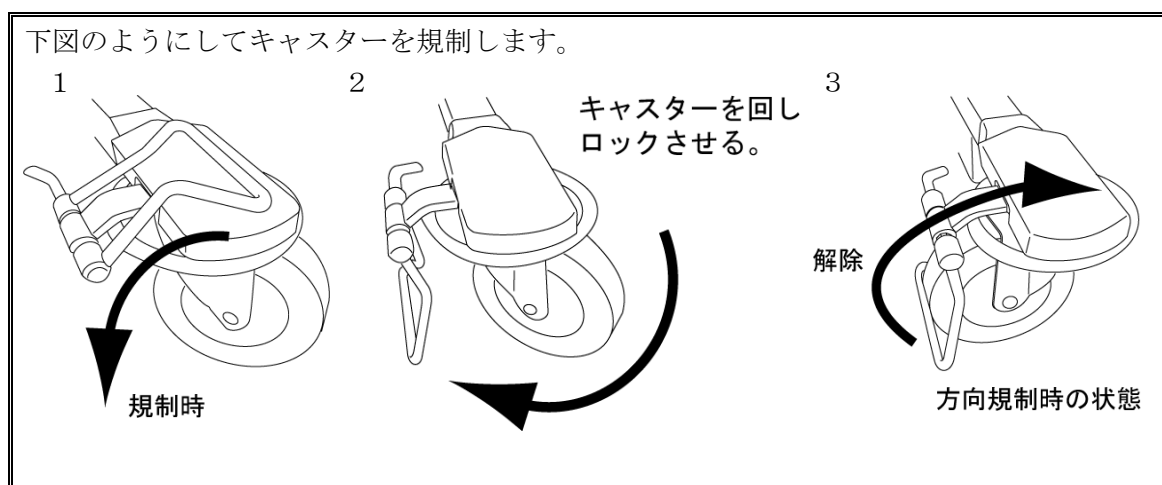
注意

移動時には必ず昇降ハンドルを収納してください。移動中にぶつける恐れがあります。



〈3. 2. 5〉方向規制

- 長い距離を移動するときなど、方向規制を使用することにより直進走行が安定します。
- 方向規制は進行方向に対して後ろ側のみを使用してください。



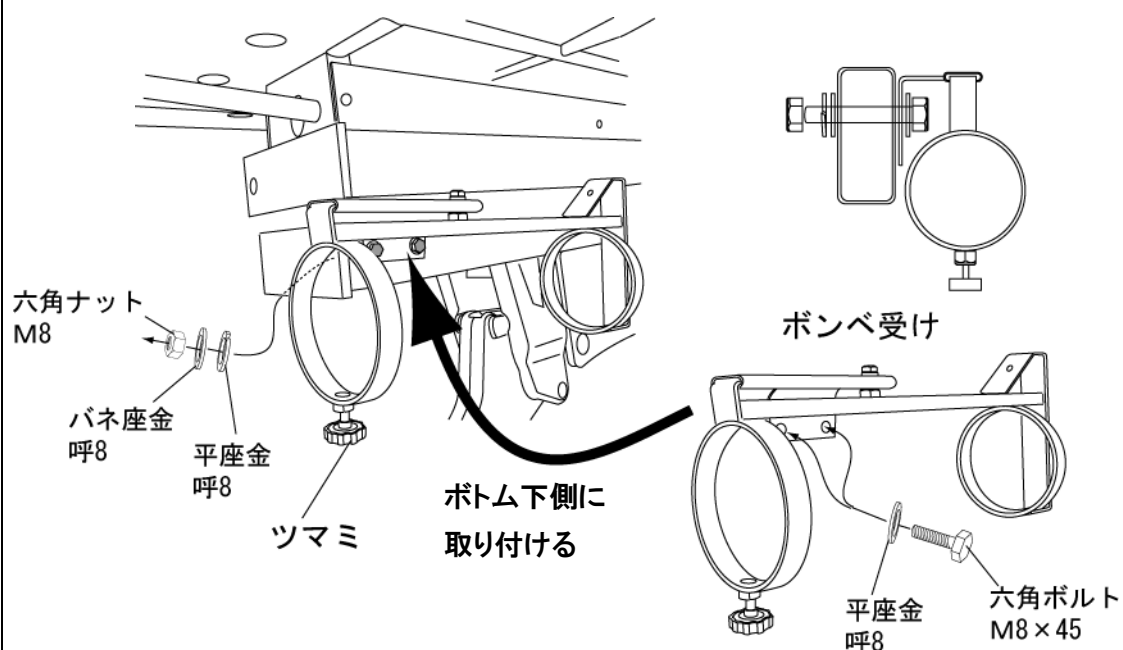
〈3. 2. 6〉ボンベ受け（オプション）

注意

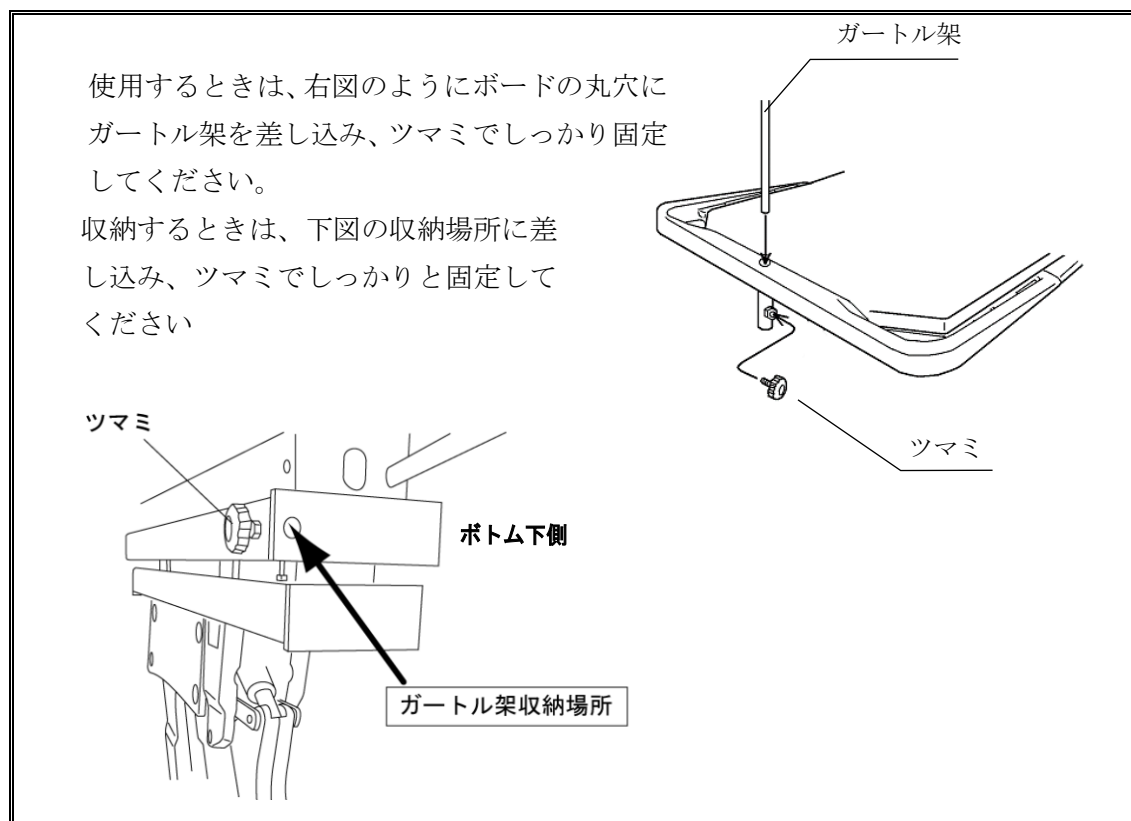
酸素ボンベは確実にツマミでしっかりと固定してください。

下図のようにボトム下側のフレームにボンベ受けを取付けます。

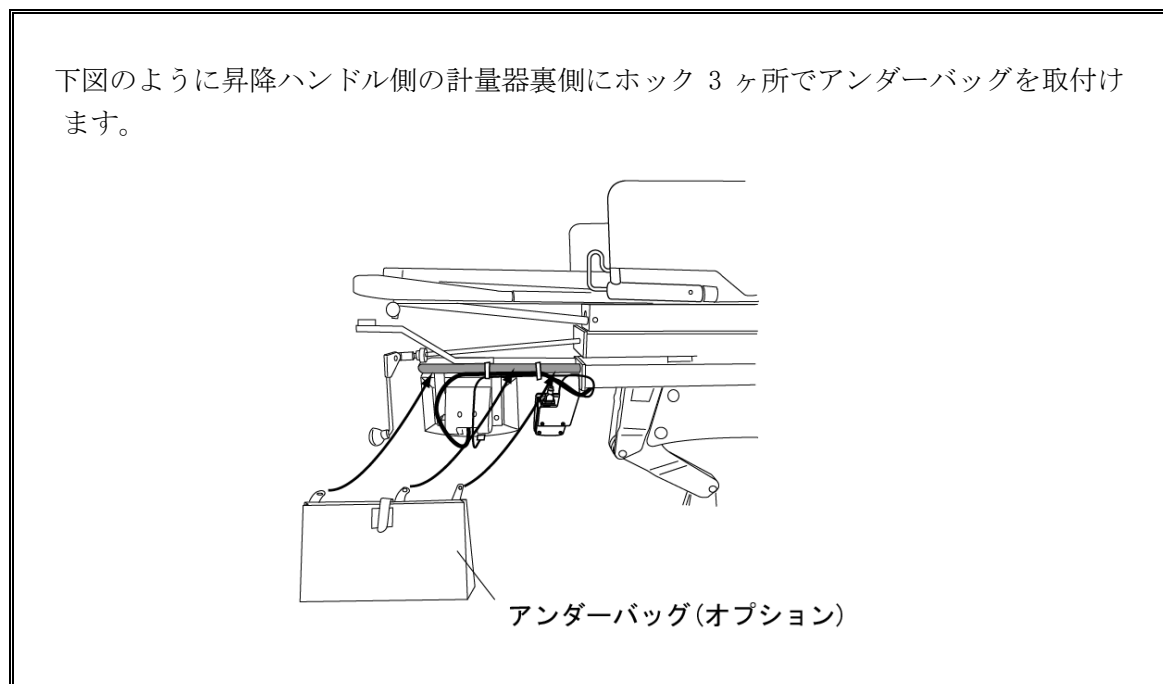
【六角ボルトM8×45（2個）、平座金 呼8（4個）、バネ座金 呼8（2個）
六角ナットM8（2個）】



〈3. 2. 7〉 ガートル架 (オプション)



〈3. 2. 8〉 アンダーバッグ (オプション)



〈3. 2. 9〉安全ベルト

- 安全ベルトの脱着はバックル部分で行えます。
- 安全ベルトをつけた時、握りこぶし一つ入るくらいの長さに調節してください。

警告

安全ベルトは、搬送中の落下を防ぐためのものです。必ず、安全ベルトをつけて搬送を行ってください。

注意

安全ベルトをつけた時は軽く引っ張ってみて、確実につけられているか確認してください。

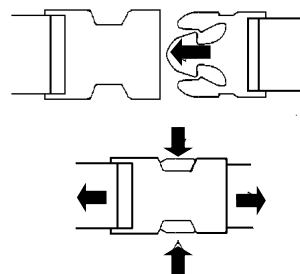
安全ベルトはボトムの縁に開いている長穴部分に通して取付けます。

【付けるとき】

バックルを合わせて押し込みます。

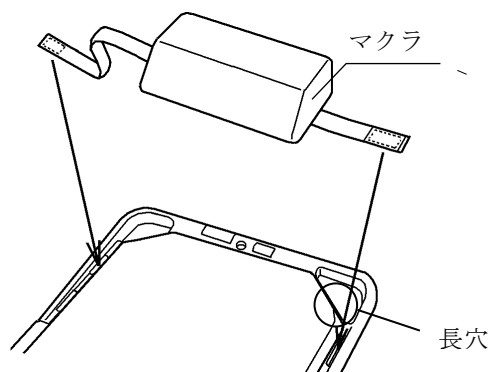
【外すとき】

バックルの両側を押さえ、引き抜きます。



〈3. 2. 10〉マクラ（オプション）

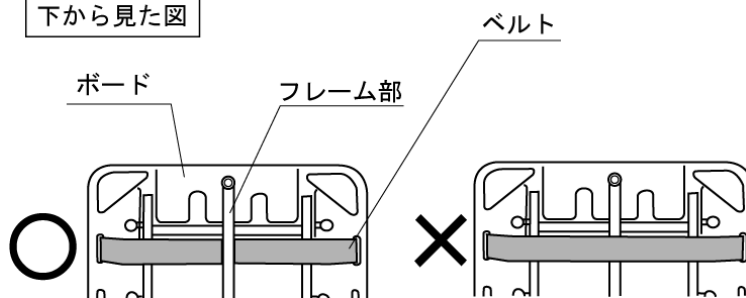
ボードの長穴にベルトを通し、マジックテープで固定します。



注意

- ・ ベルトを通す時に、ボードとフレーム部の間のすき間に通してください。

下から見た図



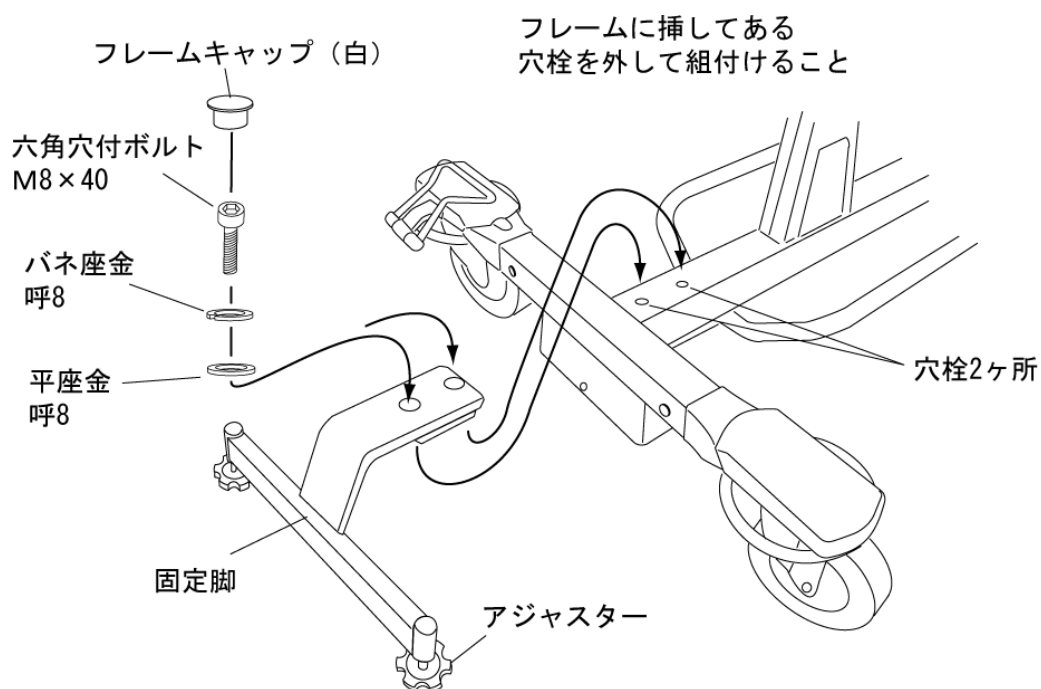
〈3. 2. 1 1〉固定脚（オプション）

下図のように固定脚をフレームに組付けます。

（フレーム左右に同じように組付けます。）

片側での使用部品

【六角穴付ボルトM8×40（2個）、平座金 呼8（2個）、バネ座金 呼8（2個）
フレームキャップ（白）（2個）】



注意

- ・ 固定脚は確実にフレームに固定してください。
けが・故障の原因となります。また正しく計量出来ません。
- ・ 固定脚はガタツキの無いようにアジャスターで調節してください。
ガタツキがある場合は正しく計量が出来ません。
- ・ 水平調整できる範囲を越える場所では使用しないでください。

〔4〕 日常のお手入れ

本機は、病院や施設で使用するものです。そのため、本機を清潔に保つ必要があります。本機のお手入れは、使用後または2～3日おきにお手入れされることをお勧めします。

また、お手入れされるときには各部の点検も行っていただきますと、トラブルを未然に防ぐこともでき、より安全にご使用いただけます。

この点検は、お手入れ時だけではなく、使用前にもされることをお勧めいたします。

お手入れ方法・点検内容は以下の通りです。

◆お手入れ方法

本機（マットを含む）は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってきれいに拭いてください。その後乾いた布で拭きとってください。

◆点検内容

- ・以下の項目のすべてに異常がないときに限りご使用ください。
- ・何らかの異常がある場合には、ご使用にならないでください。
- ・ここに書かれていない処理はしないでください。

点検項目		処理方法
キャスターはガタガタしませんか。 (ガタガタするとき→NO)	→ NO	キャスターの劣化が原因です。 ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
各部がガタガタしませんか。 (しているとき→NO)	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
昇降操作は正常にできますか。 (正常にできないとき→NO)	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
↓OK		
使用中気になる音はしませんか。 (音がするとき→NO)	→ NO	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。

注意

上記の使用前点検に記載されていること以外でも、おかしいとか、今までと違うような気がしたときには、絶対に使用せず、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。

お客様の判断で本取扱説明書に記載されていない内容の処理をされた場合には、弊社では責任を負いかねます。

◆消耗品・交換部品

- ・定期点検時には、下記の交換時期になっていないか確認してください。
- ・交換時期に該当するものについては、ご購入先あるいは弊社までご連絡のうえ、お早めに交換してください。

品 名	交 換 時 期
キャスター	しっかり固定されているのにガタガタしはじめたとき。
安全ベルト	ほつれや切れ目が出てきたとき。ひどく汚れたとき。
マット	ほつれや破れが出てきたとき。ひどく汚れたとき。
マクラ	ほつれや破れが出てきたとき。ひどく汚れたとき。
アンダーバッグ	ほつれや破れが出てきたとき。ひどく汚れたとき。

※ 消耗品については保証外といたします。

[5] トラブルシューティング（異常な場合の処理）

- ・下記以外のトラブル（異常）・原因の場合、また、下記の処置では解決しなかった場合には、ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル項目	主な原因	処置
上昇しない。	一番上に上がっています。	ご購入先あるいは弊社までご連絡ください。
下降しない。	一番下に下がっています。	
キャスターがガタガタする。	キャスターの劣化。	
ブレーキがきかない。		
ボトムがガタガタする。	ボルトのゆるみ	
昇降部がガタガタする。	ボルトのゆるみ	
サイドレールのロックがかからない。		
異音がする。		

エラー表示について

はかりは自動的にいろいろな機能をチェックしています。以下のような表示が出たらエラー表示ですので、対処方法に従って対処してください。

※これら以外の表示が出た場合、対処方法通りに処置しても回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

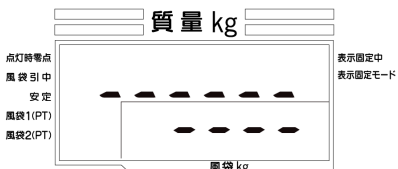
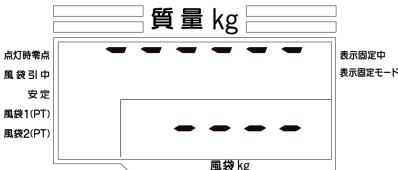
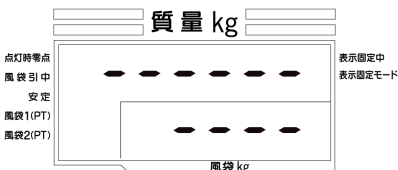
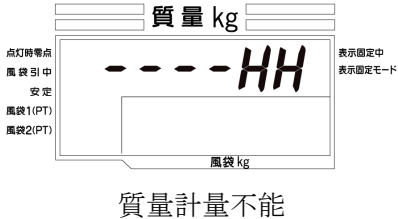
表 示 内 容	原 因	対 処 方 法
 電池残量少	乾電池の残量が少なくなっています。	すべて新しい乾電池と交換してください。 ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。
 電池切れ	乾電池の残量がなくなっています。	すべて新しい乾電池と交換してください。 ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池を混ぜて使用しないでください。
 質量計量不能	質量が－5 目量（－0.5kg）未満になっている場合に、表示します。	 を押してください。
 質量計量不能	質量がひょう量＋5 目量（160.5kg）を超えている場合に表示します。	計量物を取り除くと質量表示になります。はかりの使用範囲内で使用してください。
 質量計量不能	質量を検出する部分に異常があります。	電源を一度オフし、しばらくしてから電源をオンしてください。回復しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

表 示 内 容	原 因	対 処 方 法
 質量計量不能	重い物を載せたまま電源をオンした。	ストレッチャーに何も載せずに、もう一度電源をオンしてください。
 質量計量不能	ストレッチャー本体とボトムの隙間に何か物が挟まっている状態で電源をオンした。	物が挟まっていないことを確認してください。 また、他の物がボトムに触れていないことを確認してから  を押してください。 回復しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
 質量計量不能	はかり使用中に重たい計量物を載せて  を押した。	零点リセットできる範囲を超えています。載せた計量物を取り除いて  を押してください。
 質量計量不能	ストレッチャーに何か載せたままで電源をオンし、その後取り除いて  を押した。	ストレッチャーに何も載せずに、もう一度電源をオンしてください。

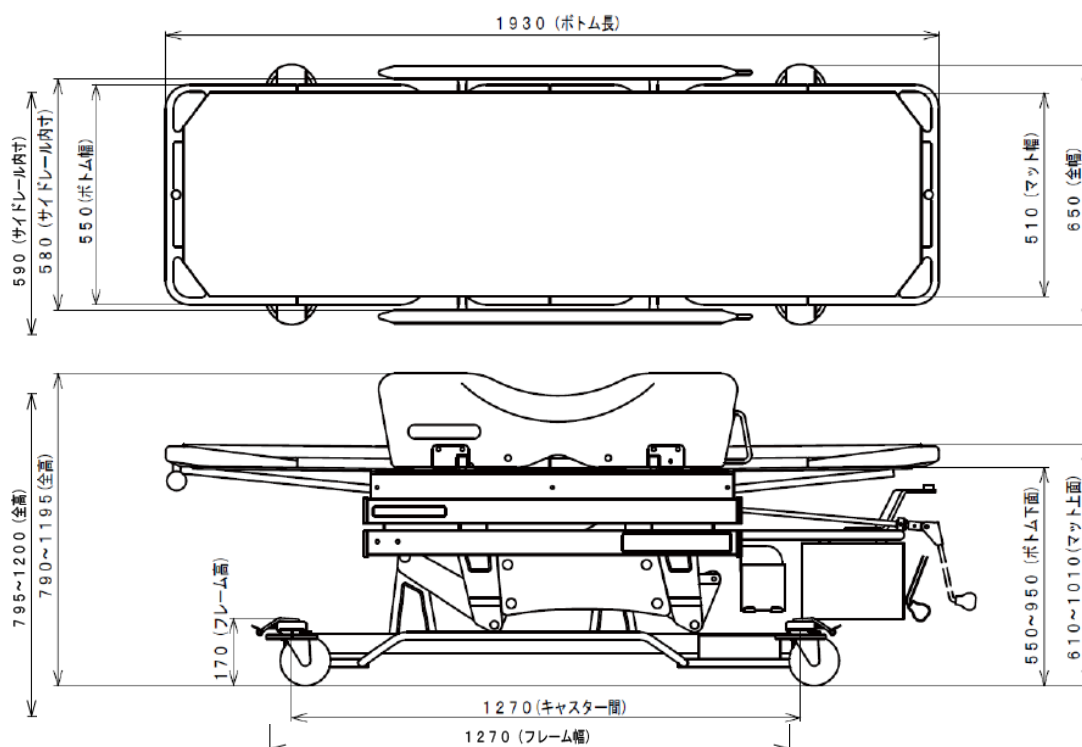
〔6〕仕様

1. 型式 : DP-7300PW (風袋表示タイプ)
2. はかり部
- (1) ひょう量 : 160kg
 - (2) 目量 : 0.1kg (拡張表示 ; 0.02kg)
 - (3) 精度等級 : III級 (新計量法)
 - (4) 計量方式 : 電気抵抗線式
 - (5) 載台寸法 : 1,930×550mm
 - (6) 表示管 : 液晶表示管使用
文字寸法 幅 12×高さ 22mm
表示桁(2 段表示タイプ ; 上段 6 桁、下段 4 桁)
 - (7) 表示内容 : (上段)
質量表示
(下段)
風袋値表示
(サイン)
点灯時零点、風袋引中、風袋 1(PT)、風袋 2(PT)、表示固定中、
表示固定モード、DATE、TIME、電池消耗
 - (8) キースイッチ : 《ON・零点／OFF》 ; 電源オン・零点リセット及び、オフキー
《※》 ; 設定用キー
《風袋 1／風袋 2》 ; プリセット風袋切り替えキー
《風袋》 ; ワンタッチ風袋キー
《表示固定》 ; 表示固定モード切り替えキー
《拡張表示》 ; 拡張表示切り替えキー
3. ストレッチャー部
- (1) ボトム長 : 1,930mm
 - (2) ボトム幅 : 550mm
 - (3) マット上面高さ : 610～1,015mm
 - (4) マット幅 : 510mm
 - (5) サイドレール内寸 : 580mm
 - (6) キャスター : 4 輪自由車輪 直径φ 125mm
 - (7) ブレーキ : 4 輪ブレーキ
4. 機能
- 風袋引機能 : ひょう量内風袋引き(減算式)
最大風袋引量は 99.9kg
《風袋》キーによるワンタッチ式
及び、《風袋 1/風袋 2》キーによるプリセット風袋式
- 電源オートオフ機能 : はかりを使用しない場合、自動的に電源を切る機能
- 時計機能 : 年月日時分を表示、及び設定ができます。

- プリンタ印字機能 : 表示固定時のみ下記項目を印字
日付、時刻、計量値、風袋値を印字します。
※1. 風袋引きをしていない場合、風袋値を印字しません。
- 表示固定機能 : 計量値が安定すると表示が固定される機能
- 拡張表示機能 : 拡張表示で最小表示を 0.02kg で測定できる機能
※拡張表示による測定値は、取引証明には使用できません。
拡張表示による測定値の印字は行いません。
- 通信機能 : RS232C による通信機能を標準装備
- 載台昇降機能 : 昇降ハンドルにより載台の高さを調整できる機能移動時も昇降
ハンドルが邪魔にならないようワンタッチ収納
- キャスターブレーキ機能 : ブレーキペダルを踏むとキャスターを固定する機能
- 方向規制機能 : 方向規制を使用することにより直進走行が安定します
5. 電源 : 乾電池式（単一乾電池 4 本）及び AC アダプタ
電池寿命約 600 時間（アルカリ乾電池使用時）
6. 外観寸法 : 全長 1,930mm×全幅 650mm×全高 790～1,195mm
7. 製品重量 : 約 82kg
8. 使用温度範囲 : -10～+40℃
9. 使用湿度範囲 : 25%～85%R.H.（結露無きこと）
10. 梱包 : 寸法 縦 2,000mm×横 700mm×高さ 650mm
材質 段ボール K6W
11. 付属品 : 取扱説明書、保証書、単一乾電池 4 個、マット、安全ベルト
AC アダプタ（指示計専用品、プリンタ専用品）、
プリンタロール紙
12. オプション : マクラ、ガートル架、ボンベ取付台、固定脚、アンダーバック

13. 外観図

◇耐荷重
160kg



信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

本 社 営 業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町5番22号		TEL.078-918-6540
東日本支店	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目22番5号	KDX浜松町センタービル4階	TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	朝日生命名古屋栄ビル5階	TEL.052-238-5731
北関東オフィス	〒350-0822	埼玉県川越市山田1888番地1		TEL.049-215-3122
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階	TEL.043-214-3920
九州営業所	〒810-0044	福岡市中央区六本松2丁目12番25号	ベルヴィ六本松6階	TEL.092-577-1591